



7月には七夕や花火大会など夏に近づいていくのを感じるイベントが目白押しです(^_^)-☆
暑中見舞いや残暑お見舞いを送る季節でもあります。

もし、暑中見舞いを出される方は、レッスンをさせていただきますのでご相談ください。

さて、7月の教室開催日は右のとおりですので、よろしくお願ひします。

2018 << 7月 >>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



QRコードの仕組みとQRコードの活用その2



倉庫での在庫管理

QRコードは倉庫での在庫管理にも用いられるようになってきました。倉庫には日々在庫が入庫し、出庫していきます。大きな倉庫になればなるほど、人の記憶に頼ることは難しくなり、目視による入荷数間違い、出荷間違い等も起こります。パソコンのデータでの管理は可能ですが、現場ではパソコンを抱えながら在庫を扱うことは難しいため、毎回データを印刷して現場でチェックする作業が行われています。

QRコードで管理することによって、ピッキングすべき在庫のQRコードを読み取って照合することになるため、誤った商品在庫をピックアップするとエラーとなります。これにより、現場とパソコンのデータ間における在庫の誤差を少なくすることができます。

医療現場でも活用が広がる

医療の世界でもQRコードが用いられています。

QRコード付きの問診票を持って診察に行き、検査時にQRコードを読み取って検査データと紐づけします。問診票と検査結果が紐付けされることで、診察結果を簡単にラベルで出力することができます。

調剤薬局でも誤った薬を患者に渡すことを防ぐために、QRコードによるピッキングも行うことができます。

受取ロッカーでの活用

羽田空港のグローバル wifi（ワイファイ）レンタルカウンターには、「スマートピックアップ」が設置されています。これは、グローバル wifi レンタル申込時に QR コードを送付し、受取ロッカーのカギを開けるものです。受付カウンターでの受け取り作業の効率化だけでなく、受け取るユーザーの待ち時間も解消したサービスです。



QR コードは決済にも活用されている

近年では QR コードはスマホによる決済にも用いられています。QR コードが決済に広く使われているのは中国で、多くの中国人が利用している SNS である WeChat（ウィー・チャット）が展開している決済サービスである WeChat Pay（ウィー・チャット・ペイ）が人気です。WeChat Pay は 2 億人が利用しているサービスです。WeChat Pay を使うためには、スマホと銀行口座を持っていることが必要です。アプリをダウンロードし、個人認証を行った後に銀行口座と紐付けを行います。その後、銀行口座から WeChat Pay に移したい金額をチャージすることによって使うことができます。精算の際は店員に WeChat Pay での支払いと伝えれば、レジの専用機器に QR コードが表示されるためスマホをかざすことによって決済ができます。

近年訪日外国人客が増加しているため、中国人観光客のニーズに対応するために決済方法として WeChat Pay を導入している店舗も少しずつ増えてきています。同じような決済サービスとしてはアリババグループの Alipay（アリペイ）もあり、こちらも同じような手順で QR コードによる決済が行えます。

QR コードでの決済は、スマホさえ持っていれば決済できるという手軽さから中国だけでなく他の国でも広がっていくことでしょう。2017 年 8 月 30 日に発表されたニュースでは、タイで主要銀行とクレジットカード会社の VISA が QR コードでの電子決済サービスを開始したと報じられました。

タイの主要銀行やクレジットカード大手のビザなどは 30 日、統一規格の QR コードを使った電子決済を年内にも始めると発表した。商品の代金や料金の支払時に表示される QR コードをスマートフォン（スマホ）でかざすだけでクレジットカードや銀行口座から引き落とされる。タイでキャッシュレス化が一気に加速しそうだ。

日本でもようやく QR コードによる決済が導入されるようになりました。最近のニュースで言えば、NTT ドコモが大手コンビニチェーンのローソンで QR コードでの決済を行えるようになりました。利用した料金は毎月の携帯使用料金と一緒に支払う仕組みとなっています。



まとめ

最初はバーコードで読み取れる以上の情報を読み取りたいということから開発された QR コード。今や世界中で QR コードが活用されており、幅広い場面で利用されています。これからも新しいアイデアによって QR コードの多様な使い方が広がっていくことでしょう。

※「QR コード」は（株）デンソーウェーブの登録商標です。